

## 教育訓練給付制度の適正な利用に必要な事項について

教育訓練給付制度を適正に利用していただくために、以下の点について十分にご理解いただくようお願いいたします。

(1) 一般教育訓練給付の支給対象となる教育訓練経費とは、教育訓練の受講に必要な入学料及び受講料（最大1年分）に限られます。

(2) 受講料には、受講費のほか、受講に伴い必須となる教材費用等も含まれますが、検定試験受験料、補助教材費、補講費、交通費、パソコン等の器材費等は含まれません。また、クレジット会社に対する手数料、支給申請時点での未納の額（クレジット会社を介してクレジット契約が成立している場合を除きます。）も教育訓練経費に含まれるものではありません。

(3) 現金等（有価証券等を含みます。）や物品の還元的な給付その他の利益を受けた場合や、各種割引の適用を受けた場合には、その還元的な給付額や割引額等を差し引いた額が教育訓練給付金の対象となる教育訓練経費となります。

このため、このような還元的な給付等を受けた場合には、入学料及び受講料の額から当該還元額を控除した額で教育訓練給付金の支給を申請することが必要になります。

なお、当該教育訓練経費に係る領収書又はクレジット契約証明書の発行後、受講料の値引き等により教育訓練経費の一部の還付が行われた場合には、教育訓練給付金の支給申請に際しては、教育訓練実施者が受講者に発行する、還元額等が記載された「返還金明細書」の提出が必要となります。

(4) 一般教育訓練給付金は、当該教育訓練を実際に本人が受講し、かつ、修了した場合のみ支給されるものです。このため本人以外の者が受講し、又は修了試験等を受験等した場合には、一般教育訓練給付金は支給されません。

また、当該教育訓練の修了試験に際して、あらかじめ解答が添付されている場合等にあつては、当該教育訓練を修了したものとは認められていませんので、一般教育訓練給付金の支給を受けることはできません。

# 一般教育訓練明示書

講座の名称	介護職員実務者研修通信課程(保有資格なし)															
実施方法	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 ) ② <u>通信 スクーリング(回数2回)</u> ※日数は各府県市社協によって異なります。															
指定講座番号	1	4	0	3	9	—	1	6	1	0	0	1	—	0		
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間					過去一年の講座実績	入講者数(累積) (438人) (平成28～30年度)					修了者数 (272人) (平成28～29年度)				
平成28年4月1日	平成31年3月31日まで															
訓練期間	9ヶ月					総訓練時間					450時間					
1. 教育訓練目標																
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						介護職員 実務者研修										
②①に係る資格・試験等の実施機関名称						厚生労働省										
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等						特になし										
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						高齢者関係や障害者関係の分野での介護業務の従事。また、キャリアアップを積むことで、指導者や相談業務等、介護に関する様々な場面での活躍が期待される。										
2. 教育訓練の内容																
教科 (カリキュラム)						時間			使用教材名							
人間の尊厳と自立						5 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第1巻「人間と社会」							
社会の理解 I						5 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第1巻「人間と社会」							
社会の理解 II						30 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第1巻「人間と社会」							
介護の基本 I						10 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第2巻「介護の基本 I・II」							
介護の基本 II						20 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第2巻「介護の基本 I・II」							
コミュニケーション技術						20 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第2巻「介護の基本 I・II」							
生活支援技術 I						20 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第2巻「介護の基本 I・II」							
生活支援技術 II						30 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第2巻「介護の基本 I・II」							
介護過程 I						20 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第3巻「介護過程」							
介護過程 II						25 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第3巻「介護過程」							
介護過程 III ※面接授業						45 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第3巻「介護過程」							
発達と老化の						10 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」							
発達と老化の理解 II						20 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」							
こころとからだのしくみ I						20 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」							
こころとからだのしくみ II						60 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」							
認知症の理解 I						10 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第5巻「認知症の理解・障害の理解」							
認知症の理解 II						20 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第5巻「認知症の理解・障害の理解」							
障害の理解 I						10 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第5巻「認知症の理解・障害の理解」							
障害の理解 II						20 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第5巻「認知症の理解・障害の理解」							
医療的ケア ※50時間の他、演習を実施						50 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第6巻「医療的ケア」							
合計						19科目+スクーリング			450 時間							
3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)																
①受講するに当たって必要な実務経験等						特になし										
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準						介護業務に従事、または従事する予定の者で介護福祉に関する技能向上や介護福祉士の資格取得を目指すもの										
③その他						-										

# 一般教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 昨年度内(平成29年度)の受講修了者数	158	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	54	人	受験率(②/①)	34.2%	%
③ ②のうち合格者数	50	人	合格率(③/②)	92.6%	%
④ 上記②・③の回答者数	66	人			

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		66	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	39	人	②A: 就業者計	65人
	2 非正社員、派遣社員	26	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	1	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	34	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	65人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	2	人		
	3 社内外の評価が高まる	7	人		
	4 円滑な転職に役立つ	12	人		
	5 趣味・教養に役立つ	3	人		
	6 その他の効果	6	人		
	7 特に効果はない	1	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	1人
	2 希望の職種・業界で就職できる	1	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	1	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	1人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	-	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	18	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	66人
	2 おおむね満足	37	人		
	3 どちらとも言えない	10	人		
	4 やや不満	1	人		
	5 大いに不満	0	人		

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信学習: 科目ごとに与えられた課題の答案提出。</li> <li>・スクーリング: 筆記試験、実技試験、課題提出</li> </ul> 以上により知識・技術のレベル到達度の把握・測定をする。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度実施場所: 16社協(青森県、秋田県、岩手県、鶴岡市、福島県、埼玉県、神奈川県、川崎市、愛知県、滋賀県、大阪府、大阪市、奈良県、鳥取県、広島県、山形県)</li> <li>・時期: 8月～11月</li> </ul>

## 6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

<b>【修了要件】</b> ・通信学習全科目の修了 ・介護過程Ⅲ面接授業、医療的ケア演習の修了	<b>【修了時期】</b> 受講開始年の12月31日
---	-------------------------------

# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

## 7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	答案採点時に講師からの講評を添えた「履修状況通知」の送付。 郵便やメールによる質問事項への助言・指導。
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	「学習通信」による介護福祉士国家試験受験にかかる情報提供。 国家試験対策メールニュースの配信。

## 8. その他の事項

指定教育訓練実施者名 及び代表者名	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 <span style="float: right;">(会長 斎藤 十郎 )</span>
住所及び連絡先	東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル <span style="float: right;">TEL 03-3581-7851</span>
施設名称及び施設長名	中央福祉学院 <span style="float: right;">(学監 野崎 吉康 )</span>
住所及び連絡先	神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44 湘南国際村内 <span style="float: right;">TEL 046-858-1355</span>
給付制度担当部署・者	介護職員実務者研修通信課程 <span style="float: right;">(担当者: 小松 茜 )</span>
連絡先	TEL 046-858-1355

一般教育訓練経費 支払い方法	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	145,000 円
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	145,000 円
③ 両方可能	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	0円
	① 副読本代 (税込額)	0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円
	3. 総額 (1+2) (税込額)	145,000 円

[ 特 記 事 項 ]

# 一般教育訓練明示書

講座の名称	介護職員実務者研修通信課程(保有資格コース:介護職員初任者研修)													
実施方法	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 ) ② <u>通信 スクーリング(回数2回)</u> ※日数は各府県市社協によって異なります。													
指定講座番号	1	4	0	3	9	—	1	6	1	0	0	2	—	3
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 平成28年4月1日				過去一年の講座実績 平成31年3月31日まで			入講者数(累積)(296人) (平成28～30年度)			修了者数 (202人) (平成28～29年度)			
訓練期間	7ヶ月						総訓練時間			320時間				
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル							介護職員 実務者研修							
②①に係る資格・試験等の実施機関名称							厚生労働省							
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等							介護職員初任者研修修了者							
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況							高齢者関係や障害者関係の分野での介護業務の従事。また、キャリアアップを積むことで、指導者や相談業務等、介護に関する様々な場面での活躍が期待される。							
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)							時間			使用教材名				
社会の理解Ⅱ							30 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第1巻「人間と社会」				
介護の基本Ⅱ							20 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第2巻「介護の基本Ⅰ・Ⅱ」				
コミュニケーション技術							20 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第2巻「介護の基本Ⅰ・Ⅱ」				
介護過程Ⅱ							25 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第3巻「介護過程」				
介護過程Ⅲ ※面接授業							45 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第3巻「介護過程」				
発達と老化の理解Ⅰ							10 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」				
発達と老化の理解Ⅱ							20 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」				
こころとからだのしくみⅡ							60 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」				
認知症の理解Ⅱ							20 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第5巻「認知症の理解・障害の理解」				
障害の理解Ⅱ							20 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第5巻「認知症の理解・障害の理解」				
医療的ケア ※50時間の他、演習を実施							50 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第6巻「医療的ケア」				
合計							10科目+スクーリング			320 時間				
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等							特になし							
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準							保有資格:介護職員初任者研修 介護業務に従事、または従事する予定の者で介護福祉に関する技能向上や介護福祉士の資格取得を目指すもの。							
③その他							-							

# 一般教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 昨年度内(平成29年度)の受講修了者数	128	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	52	人	受験率(②/①)	0.4	%
③ ②のうち合格者数	46	人	合格率(③/②)	0.9	%
④ 上記②・③の回答者数	56	人			

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		56	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	35	人	②A: 就業者計	54人
	2 非正社員、派遣社員	19	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	2	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	29	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	54人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	2	人		
	3 社内外の評価が高まる	8	人		
	4 円滑な転職に役立つ	3	人		
	5 趣味・教養に役立つ	2	人		
	6 その他の効果	6	人		
	7 特に効果はない	4	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	1	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	2人
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	1	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	1	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	2人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	1	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	-	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	11	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	55人
	2 おおむね満足	38	人		
	3 どちらとも言えない	4	人		
	4 やや不満	2	人		
	5 大いに不満	0	人		

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信学習: 科目ごとに与えられた課題の答案提出。</li> <li>・スクーリング: 筆記試験、実技試験、課題提出</li> </ul> 以上により知識・技術のレベル到達度の把握・測定をする。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度実施場所: 16社協(青森県、秋田県、岩手県、鶴岡市、福島県、埼玉県、神奈川県、川崎市、愛知県、滋賀県、大阪府、大阪市、奈良県、鳥取県、広島県、山形県)</li> <li>・時期: 8月～11月</li> </ul>

## 6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

<b>【修了要件】</b> ・通信学習全科目の修了 ・介護過程Ⅲ面接授業、医療的ケア演習の修了	<b>【修了時期】</b> 受講開始年の12月31日
---	-------------------------------

# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

## 7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	答案採点時に講師からの講評を添えた「履修状況通知」の送付。 郵便やメールによる質問事項への助言・指導。
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	「学習通信」による介護福祉士国家試験受験にかかる情報提供。 国家試験対策メールニュースの配信。

## 8. その他の事項

指定教育訓練実施者名 及び代表者名	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 <span style="float: right;">(会長 斎藤 十朗 )</span>
住所及び連絡先	東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル <span style="float: right;">TEL 03-3581-7851</span>
施設名称及び施設長名	中央福祉学院 <span style="float: right;">(学監 野崎 吉康 )</span>
住所及び連絡先	神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44 湘南国際村内 <span style="float: right;">TEL 046-858-1355</span>
給付制度担当部署・者	介護職員実務者研修通信課程 <span style="float: right;">(担当者: 小松 茜 )</span>
連絡先	TEL 046-858-1355

一般教育訓練経費 支払い方法  ① 一括払  ② 分割払  ③ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">両方可能</span>	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	130,000 円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	130,000 円
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	0円
	① 副読本代 (税込額)	0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円
3. 総額 (1+2) (税込額)	130,000 円	

### [ 特 記 事 項 ]

# 一般教育訓練明示書

講座の名称	介護職員実務者研修通信課程(保有資格コース:訪問介護員養成研修1級)													
実施方法	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 ) ② <u>通信 スクーリング(回数2回)</u> ※日数は各府県市社協によって異なります。													
指定講座番号	1	4	0	3	9	—	1	6	1	0	0	3	—	6
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 平成28年4月1日				過去一年の講座実績 平成31年3月31日まで		入講者数(累積)(13人) (平成28～30年度)				修了者数 (5人) (平成28～29年度)			
訓練期間	6ヶ月						総訓練時間				95時間			
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						介護職員 実務者研修								
②①に係る資格・試験等の実施機関名称						厚生労働省								
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等						訪問介護員養成研修(1級)修了者								
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						高齢者関係や障害者関係の分野での介護業務の従事。また、キャリアアップを積むことで、指導者や相談業務等、介護に関する様々な場面での活躍が期待される。								
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)						時間				使用教材名				
介護過程Ⅲ ※面接授業						45 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第3巻「介護過程」				
医療的ケア ※50時間の他、演習を実施						50 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第6巻「医療的ケア」				
合計						1科目+スクーリング				95 時間				
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等						特になし								
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準						保有資格:訪問介護員養成研修1級 介護業務に従事、または従事する予定の者で介護福祉に関する技能向上や介護福祉士の資格取得を目指すもの								
③その他						-								



# 一般教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 昨年度内(平成29年度)の受講修了者数	1	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	0	人	受験率(②/①)	0.0	%
③ ②のうち合格者数	0	人	合格率(③/②)	#DIV/0!	%
④ 上記②・③の回答者数	1	人			

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	1	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	1	人	②A: 就業者計	1人
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	0	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	1人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	1	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	-	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	1人
	2 おおむね満足	1	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信学習: 科目ごとに与えられた課題の答案提出。</li> <li>・スクーリング: 筆記試験、実技試験、課題提出</li> </ul> 以上により知識・技術のレベル到達度の把握・測定をする。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度実施場所: 16社協(青森県、秋田県、岩手県、鶴岡市、福島県、埼玉県、神奈川県、川崎市、愛知県、滋賀県、大阪府、大阪市、奈良県、鳥取県、広島県、山形県)</li> <li>・時期: 8月～11月</li> </ul>

## 6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

<b>【修了要件】</b> ・通信学習全科目の修了 ・介護過程Ⅲ面接授業、医療的ケア演習の修了	<b>【修了時期】</b> 受講開始年の12月31日
---	-------------------------------

# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

## 7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	答案採点時に講師からの講評を添えた「履修状況通知」の送付。 郵便やメールによる質問事項への助言・指導。
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	「学習通信」による介護福祉士国家試験受験にかかる情報提供。 国家試験対策メールニュースの配信。

## 8. その他の事項

指定教育訓練実施者名 及び代表者名	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 <span style="float: right;">(会長 斎藤 十郎 )</span>
住所及び連絡先	東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル <span style="float: right;">TEL 03-3581-7851</span>
施設名称及び施設長名	中央福祉学院 <span style="float: right;">(学監 野崎 吉康 )</span>
住所及び連絡先	神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44 湘南国際村内 <span style="float: right;">TEL 046-858-1355</span>
給付制度担当部署・者	介護職員実務者研修通信課程 <span style="float: right;">(担当者: 小松 茜 )</span>
連絡先	TEL 046-858-1355

一般教育訓練経費 支払い方法  ① 一括払  ② 分割払  ③ 両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	90,000 円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	90,000 円
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	0円
	① 副読本代 (税込額)	0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円
3. 総額 (1+2) (税込額)	90,000 円	

### [ 特 記 事 項 ]

# 一般教育訓練明示書

講座の名称	介護職員実務者研修通信課程(保有資格コース:訪問介護員養成研修2級)													
実施方法	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 ) ② <u>通信 スクーリング(回数2回)</u> ※日数は各府県市社協によって異なります。													
指定講座番号	1	4	0	3	9	—	1	6	1	0	0	4	—	9
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 平成28年4月1日				過去一年の講座実績 平成31年3月31日まで			入講者数(累積)(454人) (平成28～30年度)			修了者数 (351人) (平成28～29年度)			
訓練期間	7ヶ月						総訓練時間			320時間				
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル				介護職員 実務者研修										
②①に係る資格・試験等の実施機関名称				厚生労働省										
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等				訪問介護員養成研修(2級)修了者										
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況				高齢者関係や障害者関係の分野での介護業務の従事。また、キャリアアップを積むことで、指導者や相談業務等、介護に関する様々な場面での活躍が期待される。										
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)							時間		使用教材名					
社会の理解Ⅱ							30 時間		介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第1巻「人間と社会」					
コミュニケーション技術							20 時間		介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第2巻「介護の基本Ⅰ・Ⅱ」					
介護過程Ⅱ							25 時間		介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第3巻「介護過程」					
介護過程Ⅲ ※面接授業							45 時間		介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第3巻「介護過程」					
発達と老化の理解Ⅰ							10 時間		介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」					
発達と老化の理解Ⅱ							20 時間		介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」					
こころとからだのしくみⅡ							60 時間		介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」					
認知症の理解Ⅰ							10 時間		介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第5巻「認知症の理解・障害の理解」					
認知症の理解Ⅱ							20 時間		介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第5巻「認知症の理解・障害の理解」					
障害の理解Ⅰ							10 時間		介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第5巻「認知症の理解・障害の理解」					
障害の理解Ⅱ							20 時間		介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第5巻「認知症の理解・障害の理解」					
医療的ケア ※50時間の他、演習を実施							50 時間		介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第6巻「医療的ケア」					
合計							11科目+スクーリング		320 時間					
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等				特になし										
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準				保有資格:訪問介護員養成研修2級 介護業務に従事、または従事する予定の者で介護福祉に関する技能向上や介護福祉士の資格取得を目指すもの										
③その他				-										

# 一般教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 昨年度内(平成29年度)の受講修了者数	152	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	70	人	受験率(②/①)	0.5	%
③ ②のうち合格者数	64	人	合格率(③/②)	0.9	%
④ 上記②・③の回答者数	77	人			

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	77	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	43	人	②A: 就業者計 76人	
	2 非正社員、派遣社員	32	人		
	3 その他の就業(自営業等)	1	人		
	4 非就業	0	人		②B: 非就業者計
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	36	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) 76人	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	2	人		
	3 社内外の評価が高まる	12	人		
	4 円滑な転職に役立つ	7	人		
	5 趣味・教養に役立つ	2	人		
	6 その他の効果	11	人		
	7 特に効果はない	6	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 0人	
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 0人	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	-	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	26	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) 76人	
	2 おおむね満足	43	人		
	3 どちらとも言えない	7	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信学習: 科目ごとに与えられた課題の答案提出。</li> <li>・スクーリング: 筆記試験、実技試験、課題提出</li> </ul> 以上により知識・技術のレベル到達度の把握・測定をする。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度実施場所: 16社協(青森県、秋田県、岩手県、鶴岡市、福島県、埼玉県、神奈川県、川崎市、愛知県、滋賀県、大阪府、大阪市、奈良県、鳥取県、広島県、山形県)</li> <li>・時期: 8月～11月</li> </ul>

## 6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

<b>【修了要件】</b> ・通信学習全科目の修了 ・介護過程Ⅲ面接授業、医療的ケア演習の修了	<b>【修了時期】</b> 受講開始年の12月31日
---	-------------------------------

# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

## 7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	答案採点時に講師からの講評を添えた「履修状況通知」の送付。 郵便やメールによる質問事項への助言・指導。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	「学習通信」による介護福祉士国家試験受験にかかる情報提供。 国家試験対策メールニュースの配信。

## 8. その他の事項

指定教育訓練実施者名 及び代表者名	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 <span style="float: right;">(会長 斎藤 十郎 )</span>
住所及び連絡先	東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル <span style="float: right;">TEL 03-3581-7851</span>
施設名称及び施設長名	中央福祉学院 <span style="float: right;">(学監 野崎 吉康 )</span>
住所及び連絡先	神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44 湘南国際村内 <span style="float: right;">TEL 046-858-1355</span>
給付制度担当部署・者	介護職員実務者研修通信課程 <span style="float: right;">(担当者: 小松 茜 )</span>
連絡先	TEL 046-858-1355

一般教育訓練経費 支払い方法  ① 一括払  ② 分割払  ③ 両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	130,000 円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	130,000 円
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	0円
	① 副読本代 (税込額)	0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円
	3. 総額 (1+2) (税込額)	130,000 円

〔特記事項〕

# 一般教育訓練明示書

講座の名称	介護職員実務者研修通信課程(保有資格コース:訪問介護員養成研修3級)													
実施方法	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 ) ② <u>通信 スクーリング(回数2回)</u> ※日数は各府県市社協によって異なります。													
指定講座番号	1	4	0	3	9	—	1	6	1	0	0	5	—	1
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間				過去一年の講座実績		入講者数(累積)(1人) (平成28～30年度)				修了者数 (0人) (平成28～29年度)			
	平成28年4月1日				平成31年3月31日まで									
訓練期間	9ヶ月						総訓練時間				420時間			

## 1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護職員 実務者研修
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	訪問介護員養成研修(3級)修了者
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	高齢者関係や障害者関係の分野での介護業務の従事。また、キャリアアップを積むことで、指導者や相談業務等、介護に関する様々な場面での活躍が期待される。

## 2. 教育訓練の内容

教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名
社会の理解Ⅱ	30 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第1巻「人間と社会」
介護の基本Ⅰ	10 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第2巻「介護の基本Ⅰ・Ⅱ」
介護の基本Ⅱ	20 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第2巻「介護の基本Ⅰ・Ⅱ」
コミュニケーション技術	20 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第2巻「介護の基本Ⅰ・Ⅱ」
生活支援技術Ⅱ	30 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第2巻「介護の基本Ⅰ・Ⅱ」
介護過程Ⅰ	20 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第3巻「介護過程」
介護過程Ⅱ	25 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第3巻「介護過程」
介護過程Ⅲ ※面接授業	45 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第3巻「介護過程」
発達と老化の理解Ⅰ	10 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」
発達と老化の理解Ⅱ	20 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」
こころとからだのしくみⅠ	20 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」
こころとからだのしくみⅡ	60 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」
認知症の理解Ⅰ	10 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第5巻「認知症の理解・障害の理解」
認知症の理解Ⅱ	20 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第5巻「認知症の理解・障害の理解」
障害の理解Ⅰ	10 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第5巻「認知症の理解・障害の理解」
障害の理解Ⅱ	20 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第5巻「認知症の理解・障害の理解」
医療的ケア ※50時間の他、演習を実施	50 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第6巻「医療的ケア」
合計	16科目+スクーリング	420 時間

## 3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	保有資格:訪問介護員養成研修3級 介護業務に従事、または従事する予定の者で介護福祉に関する技能向上や介護福祉士の資格取得を目指すもの
③その他	-

# 一般教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
<b>(1) 資格取得状況</b>					
① 昨年度内(平成29年度)の受講修了者数	0	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	0	人	受験率(②/①)	#DIV/0!	%
③ ②のうち合格者数	0	人	合格率(③/②)	#DIV/0!	%
④ 上記②・③の回答者数	0	人			
<b>(2) 受講修了者による講座の評価等</b>					
① 回答者総数	0	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人	②A: 就業者計	0人
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	0	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	0人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	-	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	0人
	2 おおむね満足	0	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信学習: 科目ごとに与えられた課題の答案提出。</li> <li>・スクーリング: 筆記試験、実技試験、課題提出</li> </ul> 以上により知識・技術のレベル到達度の把握・測定をする。				
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度実施場所: 16社協(青森県、秋田県、岩手県、鶴岡市、福島県、埼玉県、神奈川県、川崎市、愛知県、滋賀県、大阪府、大阪市、奈良県、鳥取県、広島県、山形県)</li> <li>・時期: 8月～11月</li> </ul>				
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
【修了要件】 ・通信学習全科目の修了 ・介護過程Ⅲ面接授業、医療的ケア演習の修了	【修了時期】 受講開始年の12月31日				

# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

## 7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	答案採点時に講師からの講評を添えた「履修状況通知」の送付。 郵便やメールによる質問事項への助言・指導。
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	「学習通信」による介護福祉士国家試験受験にかかる情報提供。 国家試験対策メールニュースの配信。

## 8. その他の事項

指定教育訓練実施者名 及び代表者名	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 <span style="float: right;">(会長 斎藤 十郎 )</span>
住所及び連絡先	東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル <span style="float: right;">TEL 03-3581-7851</span>
施設名称及び施設長名	中央福祉学院 <span style="float: right;">(学監 野崎 吉康 )</span>
住所及び連絡先	神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44 湘南国際村内 <span style="float: right;">TEL 046-858-1355</span>
給付制度担当部署・者	介護職員実務者研修通信課程 <span style="float: right;">(担当者: 小松 茜 )</span>
連絡先	TEL 046-858-1355

一般教育訓練経費 支払い方法  ① 一括払  ② 分割払  ③ 両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	145,000 円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	145,000 円
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	0円
	① 副読本代 (税込額)	0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円
3. 総額 (1+2) (税込額)	145,000 円	

### [ 特 記 事 項 ]



# 一般教育訓練明示書

講座の名称	介護職員実務者研修通信課程(保有資格コース:介護職員基礎研修)													
実施方法	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 ) ② <u>通信 スクーリング(回数1回)</u> ※日数は各府県市社協によって異なります。													
指定講座番号	1	4	0	3	9	—	1	6	1	0	0	6	—	4
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間				過去一年の講座実績			入講者数(累積)(28人) (平成28～30年度)			修了者数 (26人) (平成28～29年度)			
	平成28年4月1日				平成31年3月31日まで									
訓練期間	4ヶ月						総訓練時間			50				
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル				介護職員 実務者研修										
②①に係る資格・試験等の実施機関名称				厚生労働省										
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等				介護職員基礎研修修了者										
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況				高齢者関係や障害者関係の分野での介護業務の従事。また、キャリアアップを積むことで、指導者や相談業務等、介護に関する様々な場面での活躍が期待される。										
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)							時間			使用教材名				
医療的ケア ※50時間の他、演習を実施							50 時間			介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第6巻「医療的ケア」				
合計		1科目+スクーリング(医療的ケア演習のみ)					50 時間							
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等				特になし										
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準				保有資格:介護職員基礎研修 介護業務に従事、または従事する予定の者で介護福祉に関する技能向上や介護福祉士の資格取得を目指すもの										
③その他				-										

# 一般教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 昨年度内(平成29年度)の受講修了者数	9	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	4	人	受験率(②/①)	0.4	%
③ ②のうち合格者数	4	人	合格率(③/②)	1.0	%
④ 上記②・③の回答者数	7	人			

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		7	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	5	人	②A: 就業者計	7人
	2 非正社員、派遣社員	2	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	0	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	4	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	7人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	1	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	1	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	1人
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	1	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	1人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	-	人		
	4 就職していない	1	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	4	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	7人
	2 おおむね満足	2	人		
	3 どちらとも言えない	1	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信学習: 科目ごとに与えられた課題の答案提出。</li> <li>・スクーリング: 筆記試験、実技試験、課題提出</li> </ul> 以上により知識・技術のレベル到達度の把握・測定をする。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度実施場所: 16社協(青森県、秋田県、岩手県、鶴岡市、福島県、埼玉県、神奈川県、川崎市、愛知県、滋賀県、大阪府、大阪市、奈良県、鳥取県、広島県、山形県)</li> <li>・時期: 8月～11月</li> </ul>

## 6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

<b>【修了要件】</b> ・通信学習全科目の修了 ・医療的ケア演習の修了	<b>【修了時期】</b> 受講開始年の10月31日
---	-------------------------------

# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

## 7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	答案採点時に講師からの講評を添えた「履修状況通知」の送付。 郵便やメールによる質問事項への助言・指導。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	「学習通信」による介護福祉士国家試験受験にかかる情報提供。 国家試験対策メールニュースの配信。

## 8. その他の事項

指定教育訓練実施者名 及び代表者名	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 <span style="float: right;">(会長 斎藤 十郎 )</span>
住所及び連絡先	東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル <span style="float: right;">TEL 03-3581-7851</span>
施設名称及び施設長名	中央福祉学院 <span style="float: right;">(学監 野崎 吉康 )</span>
住所及び連絡先	神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44 湘南国際村内 <span style="float: right;">TEL 046-858-1355</span>
給付制度担当部署・者	介護職員実務者研修通信課程 <span style="float: right;">(担当者: 小松 茜 )</span>
連絡先	TEL 046-858-1355

一般教育訓練経費 支払い方法	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	70,000 円
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	70,000 円
③ 両方可能	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	0円
	① 副読本代(税込額)	0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0 円
	③ 施設維持費(税込額)	0 円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円
	3. 総額 (1+2) (税込額)	70,000 円

### [ 特 記 事 項 ]

# 一般教育訓練明示書

講座の名称	介護職員実務者研修通信課程(保有資格コース:認知症介護実践者研修)													
実施方法	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 ) ② <u>通信 スクーリング(回数2回)</u> ※日数は各府県市社協によって異なります。													
指定講座番号	1	4	0	3	9	—	1	6	1	0	0	7	—	7
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 平成28年4月1日				過去一年の講座実績			入講者数(累積)(7人) (平成28～30年度)			修了者数 (6人) (平成28～29年度)			
訓練期間	9ヶ月				総訓練時間				420時間					

1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護職員 実務者研修
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	認知症介護実践者研修修了者
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	高齢者関係や障害者関係の分野での介護業務の従事。また、キャリアアップを積むことで、指導者や相談業務等、介護に関する様々な場面での活躍が期待される。

2. 教育訓練の内容

教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名
人間の尊厳と自立	5 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第1巻「人間と社会」
社会の理解 I	5 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第1巻「人間と社会」
社会の理解 II	30 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第1巻「人間と社会」
介護の基本 I	10 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第2巻「介護の基本 I・II」
介護の基本 II	20 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第2巻「介護の基本 I・II」
コミュニケーション技術	20 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第2巻「介護の基本 I・II」
生活支援技術 I	20 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第2巻「介護の基本 I・II」
生活支援技術 II	30 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第2巻「介護の基本 I・II」
介護過程 I	20 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第3巻「介護過程」
介護過程 II	25 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第3巻「介護過程」
介護過程 III ※面接授業	45 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第3巻「介護過程」
発達と老化の理解 I	10 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」
発達と老化の理解 II	20 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」
こころとからだのしくみ I	20 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」
こころとからだのしくみ II	60 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」
障害の理解 I	10 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第5巻「認知症の理解・障害の理解」
障害の理解 II	20 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第5巻「認知症の理解・障害の理解」
医療的ケア ※50時間の他、演習を実施	50 時間	介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト 第6巻「医療的ケア」
合計	17科目+スクーリング	420 時間

3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	保有資格:認知症介護実践者研修 介護業務に従事、または従事する予定の者で介護福祉に関する技能向上や介護福祉士の資格取得を目指すもの
③その他	-

# 一般教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 昨年度内(平成29年度)の受講修了者数	2	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	2	人	受験率(②/①)	1.0	%
③ ②のうち合格者数	2	人	合格率(③/②)	1.0	%
④ 上記②・③の回答者数	2	人			

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	2	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	2	人	②A: 就業者計 2人	
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	0	人		②B: 非就業者計
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	1	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	1	人		2人
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		0人
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	-	人		
	4 就職していない	0	人		0人
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	2	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	0	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		2人
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信学習: 科目ごとに与えられた課題の答案提出。</li> <li>・スクーリング: 筆記試験、実技試験、課題提出</li> </ul> 以上により知識・技術のレベル到達度の把握・測定をする。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度実施場所: 16社協(青森県、秋田県、岩手県、鶴岡市、福島県、埼玉県、神奈川県、川崎市、愛知県、滋賀県、大阪府、大阪市、奈良県、鳥取県、広島県、山形県)</li> <li>・時期: 8月～11月</li> </ul>

## 6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

<b>【修了要件】</b> ・通信学習全科目の修了 ・介護過程Ⅲ面接授業、医療的ケア演習の修了	<b>【修了時期】</b> 受講開始年の12月31日
---	-------------------------------

# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

## 7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	答案採点時に講師からの講評を添えた「履修状況通知」の送付。 郵便やメールによる質問事項への助言・指導。
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	「学習通信」による介護福祉士国家試験受験にかかる情報提供。 国家試験対策メールニュースの配信。

## 8. その他の事項

指定教育訓練実施者名 及び代表者名	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 <span style="float: right;">(会長 斎藤 十郎 )</span>
住所及び連絡先	東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル <span style="float: right;">TEL 03-3581-7851</span>
施設名称及び施設長名	中央福祉学院 <span style="float: right;">(学監 野崎 吉康 )</span>
住所及び連絡先	神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44 湘南国際村内 <span style="float: right;">TEL 046-858-1355</span>
給付制度担当部署・者	介護職員実務者研修通信課程 <span style="float: right;">(担当者: 小松 茜 )</span>
連絡先	TEL 046-858-1355

一般教育訓練経費 支払い方法  ① 一括払  ② 分割払  ③ 両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	145,000 円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	145,000 円
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	0円
	① 副読本代 (税込額)	0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円
3. 総額 (1+2) (税込額)	145,000 円	

[ 特 記 事 項 ]

# 一般教育訓練明示書

講座の名称	介護職員実務者研修通信課程(保有資格コース:喀痰吸引等研修)													
実施方法	① 通学 ( 昼間 ・ 夜間 ・ 土日 ) ② <u>通信 スクーリング(回数1回)</u> ※日数は各府県市社協によって異なります。													
指定講座番号	1	4	0	3	9	—	1	6	1	0	0	8	—	0
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間				過去一年の講座実績		入講者数(累積) (8人) (平成28～30年度)				修了者数 (8人) (平成28～29年度)			
平成28年4月1日	平成31年3月31日まで													
訓練期間	9ヶ月						総訓練時間				400時間			
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル							介護職員 実務者研修							
②①に係る資格・試験等の実施機関名称							厚生労働省							
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等							喀痰吸引等研修修了者							
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況							高齢者関係や障害者関係の分野での介護業務の従事。また、キャリアアップを積むことで、指導者や相談業務等、介護に関する様々な場面での活躍が期待される。							
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)							時間				使用教材名			
人間の尊厳と自立							5 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第1巻「人間と社会」			
社会の理解 I							5 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第1巻「人間と社会」			
社会の理解 II							30 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第1巻「人間と社会」			
介護の基本 I							10 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第2巻「介護の基本 I・II」			
介護の基本 II							20 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第2巻「介護の基本 I・II」			
コミュニケーション技術							20 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第2巻「介護の基本 I・II」			
生活支援技術 I							20 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第2巻「介護の基本 I・II」			
生活支援技術 II							30 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第2巻「介護の基本 I・II」			
介護過程 I							20 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第3巻「介護過程」			
介護過程 II							25 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第3巻「介護過程」			
介護過程 III ※面接授業							45 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第3巻「介護過程」			
発達と老化の理解 I							10 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」			
発達と老化の理解 II							20 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」			
こころとからだのしくみ I							20 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」			
こころとからだのしくみ II							60 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第4巻「発達と老化の理解・こころとからだのしくみ」			
認知症の理解 I							10 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第5巻「認知症の理解・障害の理解」			
認知症の理解 II							20 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第5巻「認知症の理解・障害の理解」			
障害の理解 I							10 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第5巻「認知症の理解・障害の理解」			
障害の理解 II							20 時間				介護福祉士資格取得のための実務者研修テキスト第5巻「認知症の理解・障害の理解」			
合計	18科目+スクーリング(介護過程IIIのみ)						400 時間							
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等							特になし							
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準							保有資格: 喀痰吸引等研修 介護業務に従事、または従事する予定の者で介護福祉に関する技能向上や介護福祉士の資格取得を目指すもの							
③その他							-							

# 一般教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 昨年度内(平成29年度)の受講修了者数	2	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	2	人	受験率(②/①)	1.0	%
③ ②のうち合格者数	2	人	合格率(③/②)	1.0	%
④ 上記②・③の回答者数	2	人			

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	2	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	2	人	②A: 就業者計	2人
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	0	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	2	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	2人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	-	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	1	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	2人
	2 おおむね満足	1	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信学習: 科目ごとに与えられた課題の答案提出。</li> <li>・スクーリング: 筆記試験、実技試験、課題提出</li> </ul> 以上により知識・技術のレベル到達度の把握・測定をする。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度実施場所: 16社協(青森県、秋田県、岩手県、鶴岡市、福島県、埼玉県、神奈川県、川崎市、愛知県、滋賀県、大阪府、大阪市、奈良県、鳥取県、広島県、山形県)</li> <li>・時期: 8月～11月</li> </ul>

## 6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

<b>【修了要件】</b> ・通信学習全科目の修了 ・介護過程Ⅲ面接授業の修了	<b>【修了時期】</b> 受講開始年の12月31日
---	-------------------------------



# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

## 7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	答案採点時に講師からの講評を添えた「履修状況通知」の送付。 郵便やメールによる質問事項への助言・指導。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	「学習通信」による介護福祉士国家試験受験にかかる情報提供。 国家試験対策メールニュースの配信。

## 8. その他の事項

指定教育訓練実施者名 及び代表者名	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 <span style="float: right;">(会長 斎藤 十郎 )</span>
住所及び連絡先	東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル <span style="float: right;">TEL 03-3581-7851</span>
施設名称及び施設長名	中央福祉学院 <span style="float: right;">(学監 野崎 吉康 )</span>
住所及び連絡先	神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44 湘南国際村内 <span style="float: right;">TEL 046-858-1355</span>
給付制度担当部署・者	介護職員実務者研修通信課程 <span style="float: right;">(担当者: 小松 茜 )</span>
連絡先	TEL 046-858-1355

一般教育訓練経費 支払い方法  ① 一括払  ② 分割払  ③ 両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	130,000 円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	130,000 円
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	0円
	① 副読本代(税込額)	0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0 円
	③ 施設維持費(税込額)	0 円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円
3. 総額 (1+2) (税込額)	130,000 円	

[ 特 記 事 項 ]